

平成30年度

自 平成30年4月 1日
至 平成31年3月31日

事業報告書及び計算書類

公益財団法人 四万十川財団

目次

平成30年度事業報告書	・・・・・・・・ 1
重要議決事項	・・・・・・・・ 1 1
登記事項	・・・・・・・・ 1 2
貸借対照表	・・・・・・・・ 1 3
正味財産増減計算書	・・・・・・・・ 1 4
正味財産増減計算書内訳表	・・・・・・・・ 1 6
財務諸表に対する注記	・・・・・・・・ 1 8
付属明細書	・・・・・・・・ 2 1
財産目録	・・・・・・・・ 2 2
監査報告書	・・・・・・・・ 2 3

(公1) 清流四万十川の環境保全に寄与する事業

(1) 四万十川環境学習支援事業

◎四万十川の日（7月25日）の制定趣旨に沿うため、高知県下の小学生と保護者を対象とし、7月29日（日）津野町の四万十川源流域で、体験イベント『親子川遊び教室～四万十川の”はじまり”を探そう～』を開催予定であったが、当日台風12号の接近が予想されたため中止とした。

○親子川遊び教室～四万十川の”はじまり”を探そう～

（以下は予定した内容）

実施日：平成30年7月29日（日）

場所：津野町四万十川源流および船戸周辺

講師：石川妙子氏・船戸活性化委員会

内容：・四万十川源流遡行・源流域の水生生物学習・あめご釣り

◎四万十町立田野々小学校から依頼を受け、四万十川の概要、水生生物調査による水質調査についての座学を行なった。また、四万十町田野々の梶原川において水生生物調査を行なった。

○田野々小学校 6月 8日（金） ・水質調査について（座学）

・田野々の梶原川で水生生物調査 3・4年生13名

◎四万十町立七里小学校から依頼を受け、四万十川の概要、水生生物調査による水質調査についての座学を行なった。また、四万十町作屋の三堰下流・大正上宮の二箇所において水生生物調査を行なった。

○七里小学校 6月11日（月）・水質調査について（座学） 4・5年生16名

6月13日（水）・三堰下、大正上宮で水生生物調査 4・5年生16名

◎四万十町立窪川小学校から依頼を受け、四万十川の概要、水生生物調査による水質調査についての座学を行なった。また、四万十町大井野の四万十川において水生生物調査を行なった。

○窪川小学校 7月19日（木）・水質調査について（座学） 4年生46名

11月 1日（木）・大井野で水生生物調査 4年生46名

◎四万十市立中村中学校から依頼を受け、四万十川についての疑問に答える授業（座学）を行なった。

○中村中学校 11月16日（金）四万十川についての疑問 1年生17名

◎県林業振興・環境部環境共生課から依頼を受けて、四万十川条例に基づく水生生物による水質調査を四万十市立西土佐小学校・県立中村高校学校西土佐分校で実施した。西土佐分校は増水で座学のみの実施となった。

- 西土佐小学校 6月29日(金)・水生生物の調査について(座学)
9月3日(月)・カヌー館下の河原で水生生物調査 4年生14名
- 中村高等学校西土佐分校
9月7日(金)・水生生物の調査について(座学) 3年生11名

◎四万十川上流淡水漁協から水生生物モニタリングのための水生生物調査の依頼を受け、調査の補助をした。

- 四万十川上流淡水漁協 7月27日(金)・中土佐町大野見の5箇所水生生物調査
11月14日(水)・中土佐町大野見の5箇所水生生物調査
11月15日(木)・四万十町窪川の10箇所水生生物調査

◎四万十川の保全への理解が深まるよう、全国水環境マップ実行委員会(河川環境管理財団)が行う「身近な水環境の全国一斉調査」事業に連携して取り組み、流域の小中学校に対し平成31年度「身近な水環境の全国一斉調査」(CODパックテスト)への参加を促した。

(2) 四万十川ガキ育成事業

◎川遊び初心者の安全確保と観光案内を目的とする四万十川あそびマップ「かわがせんせい」改訂版を流域の関係機関、観光施設等に配布した。流域市町の協力も得ながら、初心者向けの川遊び場への大小の救命浮き輪を無償配備し、管理がお願いできるところに関しては子供用救命胴衣の無償配備を継続して行っている。

○川遊び広場の救命具類配置状況

地区名	管理委託先	場所	救命具配備状況
津野	王在家地区	王在家水泳場	浮き輪 大・小
梶原	梶原東区	三島神社前	浮き輪 大・小
大野見	中土佐町	天満宮キャンプ場	浮き輪 大・小 救命胴衣20
窪川	米の川四万十 リバーマスター	城ハナ公園	浮き輪 大・小 救命胴衣20
大正	中津川地区	久木の森山キャンプ場	浮き輪 大・小
十和	四万十町 観光協会	四万十川遊び公園 ふるさと交流センター	浮き輪 大・小 救命胴衣20
西土佐	四万十楽舎	四万十楽舎	浮き輪 大・小
中村	かわらっこ	かわらっこ	浮き輪 大・小

◎四万十川流域の学校を対象に着衣泳・救急救命訓練を含む水辺の安全教室を計画・募集をした。四万十町立窪川中学校から依頼があり、四万十町危機管理課と協力して学年ごとに1時間ずつ、防災についての授業を行うなかで、川遊びの安全について話しをした。

○窪川中学校 7月10日(火)・川遊びの安全について(座学) 1年生71名
2年生88名
3年生95名

◎四万十町立米奥小学校から依頼を受け、児童のカヌー・川遊び体験の安全確保のための補助をした。

○米奥小学校 8月10日(金)・水質調査について(座学) 全校生徒15名

◎着衣泳の指導には専門家の関与が必要とされるが、県内では有資格者の人数に限りがあるのと、県外の団体に依頼すると非常に高額となることから、職員が民間団体の出している指導者資格を取得し、今後への準備を整えた。昨年に引き続き、川辺の安全対策を進めるべくRAC(NPO法人川に学ぶ体験活動協議会)のインストラクター資格取得を目指して講習の受講をした。また、一般社団法人水難学会と協力し、指導員養成講座を四万十町で共同開催し、スタッフ2名が指導員(プール)の資格を取得した。

○RAC川の安全教室 in 仁淀 参加
実施日：平成30年6月16日(土)・17日(日)
座学：高知県立高知青少年の家 研修室1
実習：いの町波川公園

○RAC川の安全教室 in 仁淀 参加
実施日：平成30年8月16日(日)
座学：とさ自由学校
実習：勝賀瀬川(伊野町勝賀瀬)

○一般社団法人水難学会 指導員(プール)養成講習会
実施日：平成30年12月23日(日)
場所：座学 四万十町東又地区集落基幹センター
実技 四万十町B&G海洋センター
一般社団法人水難学会 指導員(プール)認定証取得

(3) 四万十リバーマスター育成事業

◎今年度は2回のリバーマスター連絡会を行った。一回目は12月に下記日程で流域4か所にて救命講習会を行い、消防の普通救命講習Iを受講し、いざというときに必要な技術・知識の習得に努めてもらい、受講した全員が普通救命講習Iの受講終了証を取得した。第2回の四万十リバーマスター連絡会は3月16日(土)に開催した。講師に石川妙子氏を招き、「水生昆虫から見た四万十川」と題して講演を行ってもらい、水生生物の生態と生態系において担う役割

について知識を深めてもらった。また、一昨年引き続き、リバーマスターには四万十川ガキ育成事業で救命具の管理をしてもらったり、高知新聞の釣り情報（毎週木曜日掲載）に上流域のアメゴの情報を提供してもらったりと、四万十川財団の他の事業でも協力をしてもらっている。

平成31年3月31日現在、四万十リバーマスターの人数は88名である。

○平成30年度第1回 四万十リバーマスター連絡会

内容：普通救命講習Ⅰ 講師 流域消防署員 開催日時・場所・参加人数は以下の通り

津野・梶原地区	12月1日（日）	10:00～13:00 (津野町役場西庁舎1Fホール)	参加者4名
四万十市中村地区	12月3日（月）	13:00～16:00 (幡多中央消防組合消防本部)	参加者4名
四万十市西土佐地区	12月4日（火）	13:00～16:00 (幡多中央消防組合四万十消防署西土佐分署)	参加者3名
四万十町窪川地区	12月7日（金）	13:00～16:00 (須崎土木四万十町事務所1F会議室)	参加者7名

○平成30年度 第2回 四万十リバーマスター連絡会

参加者：18名（リバーマスター16名 行政関係2名）

1. 日時 平成31年 3月16日（土）14:00～17:00
2. 開催場所 須崎土木事務所四万十町事務所1階会議室
3. 内容 1. 講演会「川虫から見た四万十川」 講師 石川妙子氏
質疑応答
2. 情報交換会

（4）森林ボランティア活動促進事業

◎流域の森林を緑豊かな保水力のある山に戻すため、安全に対する知識と基本的技術を身につけた森林保全ボランティアを養成する講座「四万十樵（きこり）養成塾」を11月23日から25日の2泊3日の日程で開講した。4名の森林ボランティアを志す方々が参加し、高知大学フィールド技術室室長今安清光氏指導の下、全員がチェーンソー手帳を取得した。「四万十樵養成塾」の卒業生等が組織し、間伐の推進に取組む森林ボランティアグループ「四万十樵塾」へのチェーンソーの貸出支援は継続して実施している。

○平成30年度四万十樵養成塾 参加者：4名

実施日：平成30年11月23日（金）～11月25日（日）

場所：座学 四万十源流センターせいらんの里会議室
実技 津野町船戸 周辺山林

講師：高知大学総務部物部総務課 フィールド技術室 室長 今安清光氏

講師補助：四万十樵塾メンバー

(5) 清流の森づくり事業

◎清流の森事業は除間伐等必要な植樹後必要な手入れが一通り完了したので、平成29年度第2回通常理事会で決定したとおり事業廃止の手続きをした。

(6) 四万十川情報発信事業

◎県内外への情報発信については、『清流通信・四万十川物語』を取材・編集して、毎月(25日前後)情報発信した。送信先は、国・県・市町村・マスコミ・旅行会社・四万十川財団会員などで、現在964件(Eメール;平成31年3月末現在)の送信をしている。平成25年より始めた四万十川財団フェイスブックでは、四万十川流域の旬な情報の発信に努めており、投稿のリーチは平均して毎週約3000件(平成30年度平均約3500件)である。

○清流通信・四万十川物語

- 4月 第258章 四万十川流域一斉清掃
- 5月 第259章 津野町の秘湯 郷麓温泉
- 6月 第260章 絶景!四万十のホタル
- 7月 第261章 雲の上の図書館
- 8月 第262章 四万十ドラマ直営店「とわ」
- 9月 第263章 テナガエビ類の禁漁について
- 10月 第264章 天狗高原セラピーロード
- 11月 第265章 津野山古式神楽
- 12月 第266章 四万十産「しまんとターキー」
- 1月 第267章 大正産ゲストハウス EKIMAEHOUSE SAMARU
- 2月 第268章 農家を作る菜の花畑
- 3月 第269章 桜を植えた男～土居武夫さんを偲んで～

(7) 四万十川一斉清掃支援事業

◎ホームページおよび各自治体の広報や新聞折り込みチラシなどで呼びかけ、住民の皆さんに清掃への協力を促した。本年度は四万十町が桜マラソン開催(4月1日)の関係で、3月18日の別開催となった。四万十市は4月1日、梶原町・津野町は4月8日、中土佐町は4月10日に開催した。トータルで地元住民の皆さんを中心に清掃ボランティア3713人あまりに参加していただいた。

○平成30年度四万十川一斉清掃

四万十町	平成30年3月18日(日)
四万十市	平成30年4月1日(日)
梶原町・津野町	平成30年4月8日(日)
中土佐町	平成30年4月10日(火)
	参加者計 3713人(自治体調べ)

◎一斉清掃で取り切れなかったゴミの除去を支援する事業については、今年度は市町からの要望がなく実施しなかった。

(公2) 四万十川流域の振興を図るための事業

(1) 文化的景観推進事業

◎国から文化財として選定された、人と自然がつくりあげてきた流域の景観を保存・活用するため、「四万十川流域文化的景観連絡協議会」(事務局：四万十川財団)を11回開催し、文化的景観の整備計画に関する情報や意見交換、流域連携しての事業を実施した。今年度も昨年につき、各市町の事業担当者による景観学習会を中心に活動した。

◎四万十川流域文化的景観連絡協議会

○平成30年度第1回四万十川流域文化的景観連絡協議会

- 1 開催日時：平成30年5月8日(火) 14:00～16:00
- 2 開催場所：四万十川財団事務所
- 3 議題
 - (1) 景観学習会(神在居地区)について
 - (2) 平成30年度事業について
 - (3) その他
 - ・重文景の年間スケジュールの確認
 - ・橋梁調査票について
 - ・共通ロゴについて
 - ・中越先生による学習会(研修会)開催について

○平成30年度第2回四万十川流域文化的景観連絡協議会

- 1 開催日時：平成30年6月5日(火) 15:30～17:00
- 2 開催場所：四万十川財団事務所
- 3 議題
 - (1) 市原調査官との意見交換
 - (2) その他
 - ・MAP増刷、修正について
 - ・中越先生研修会(行政関係者対象)について

○平成30年度第3回四万十川流域文化的景観連絡協議会(景観学習会)

- 1 開催日時：平成30年7月17日(火) 13:30～16:00
- 2 開催場所：高岡郡栲原町神在居集落
- 3 内容：第3回景観学習会(栲原町)
- 4 現地案内人：田村 俊夫氏(神在居地区代表・千枚田ふるさと会会長)

○平成30年度第4回四万十川流域文化的景観連絡協議会

- 1 開催日時：平成30年9月19日（水） 14:00～16:00
- 2 開催場所：四万十川財団事務所
- 3 議題：景観学習会について
(1) 神在居地区景観学習会ふりかえり
(2) 次回景観学習会（大野見）について
(3) その他

○平成30年度第5回四万十川流域文化的景観連絡協議会

- 1 開催日時：平成30年10月24日（水） 13:00～16:00
- 2 開催場所：高岡郡四万十町琴平町474-1 四万十川財団2階事務所
- 3 議題
(1) 次回景観学習会について
(2) その他

○平成30年度第6回四万十川流域文化的景観連絡協議会（景観学習会）

- 1 開催日時：平成30年11月20日（水） 13:00～15:30
- 2 開催場所：高岡郡中土佐町久礼
- 3 内容：第4回景観学習会
- 4 案内解説：中城守氏 西岡大介氏

○平成30年度第7回四万十川流域文化的景観連絡協議会

- 1 開催日時：平成30年11月28日（水） 15:00～17:00
- 2 開催場所：四万十川財団事務所
- 3 議題：文化庁下間調査官と四万十川流域の現状・課題について共有する
(1) 流域各市町の現状と課題について
(2) 四万十川流域文化的景観連絡協議会の活動について
(3) 意見交換

○平成30年度第8回四万十川流域文化的景観連絡協議会

- 1 開催日時：平成30年12月26日（火） 13:00～15:00
- 2 開催場所：四万十川財団事務所
- 3 議題：
(1) 久礼地区景観学習会ふりかえり
(2) 次回景観学習会（四万十市）について
(3) その他

○平成30年度第9回四万十川流域文化的景観連絡協議会

- 1 開催日時：平成31年1月30日（水） 13:30～15:40
- 2 開催場所：四万十川財団事務所
- 3 議題：
(1) 四万十市景観学習会事前勉強会

- 平成30年度第10回四万十川流域文化的景観連絡協議会
 - 1 開催日時：平成30年2月20日（火） 13:30～16:30
 - 2 開催場所： 四万十町大正 竹内家住宅・門脇家住宅
 - 3 内容： 現地研修会

- 平成30年度第11回四万十川流域文化的景観連絡協議会
 - 1 開催日時：平成31年3月26日（火） 13:30～16:00
 - 2 開催場所：四万十市下田地区
 - 3 内容： 第5回景観学習会
 - 4 案内解説：川村 慎也氏・鈴木 誉也氏（四万十市教育委員会）

- ◎ 鳥取県教育委員会・鳥取県智頭町教育委員会の視察受け入れ
鳥取県教育委員会から四万十川流域の文化的景観および文景協の活動について視察の依頼があり、四万十町教育委員会生涯学習課、梶原町の松原まろうど会と協力して受け入れをした。
 - 平成30年8月30日（木） 四万十町米奥地区の文化的景観現地視察案内
 - 平成30年8月31日（金） 梶原町久保谷セラピーロード案内

（2）流域活性化支援事業

- ◎ 四万十川すみずみツーリズムへの支援

流域内の体験型施設（農家民宿など）で組織した「四万十川すみずみツーリズム連絡会」（事務局：四万十川財団）の活動支援においては、情報交換や研修などを行い、集客受入態勢の強化を図っている。平成26年からはじめた四万十川を広く巡ってもらうためのスタンプラリーは引き続き実施している。また、こうした活動を四万十川財団ホームページ・四万十川財団フェイスブック・四万十川すみずみツーリズムフェイスブックなどを通じ全国に情報発信した。

- 第1回役員会
 - 1 開催日時：平成30年4月19日（木） 13:00～16:00
 - 2 開催場所：よって西土佐 2階コミュニティースペース

- 平成30年度 第1回 四万十川すみずみツーリズム連絡会総会（第1回連絡会）
 - 1 開催日時：平成30年6月6日（水） 10:00～15:00
 - 2 開催場所：（午前）四万十町十和地域振興局会議室
（午後）同会議室・かっぱバックパッカーズ
 - 3 議事内容
 - 午前の部（総会）
 - （1）平成29年度事業実績報告
 - （2）平成29年度収支決算・会計監査報告
 - （3）平成30年度事業計画（案） 及び 収支予算（案）
 - （4）情報交換・その他

午後の部(研修会)

(1)講演会(かっぱバックパッカーズ村岡さん・EKIMAEHOUSE SAMARU 小野さん)

(2)かっぱバックパッカーズ視察

○第2回役員会

1 開催日時：平成30年9月18日(火) 13:00～16:00

2 開催場所：よって西土佐 2階コミュニティースペース

○平成30年度 第2回 四万十川すみずみツーリズム連絡会

1 開催日時：平成30年10月16日(火) 10:00～13:30

2 開催場所：(午前)天狗荘 (午後)四国カルストセラピーロード

3 議事内容 午前の部(会)

(1)米こめフェスタ出店について

(2)ポスト維新博に向けて

(3)意見・情報交換

(4)その他

午後の部(セラピーロード散策)

○第3回役員会

1 開催日時：平成30年11月30日(金) 13:00～16:00

2 開催場所：よって西土佐 2階コミュニティースペース

○平成30年度 第3回 四万十川すみずみツーリズム連絡会

1 開催日時：平成31年1月22日(火) 10:00～15:30

2 開催場所：大正健康管理センター

3 議事内容

午前の部(連絡会)

(1)スタンプラリー抽選会

(2)今後のイベント出店について

(3)意見・情報交換

(4)その他

午後の部(研修会)

EKIMAE HOUSE SAMARU 視察

○第4回役員会

1 開催日時：平成31年2月20日(水) 13:00～15:30

2 開催場所：よって西土佐 2階コミュニティースペース

◎ 流域各団体への協力・支援

流域の地域活性化をはかる各団体と協力し、流域でのイベント等の支援をした。

- ・ 四万十川自然再生協議会
- ・ マイヅルテンナンショウの会
- ・ 四万十つるの里づくりの会
- ・ 四万十リバーフェスタ実行委員会
- ・ 四万十川桜マラソン実行委員会
- ・ 四万十大正あゆまつり実行委員会
- ・ 東京四万十会
- ・ 関東幡多の会
- ・ 隅田川市民交流実行委員会
- ・ 紫川を愛する会
- ・ 高知県小規模林業推進協議会
- ・ 奥四万十リバー&スプリングス連絡協議会
- ・ 四万十町総合振興計画審議会
- ・ 幡多地域生態系ネットワーク
- ・ 2018 ナショナル・トラスト全国交流大会 in 四万十実行委員会
- ・ 四万十町文化的施設検討会
- ・ 神奈川学園高校修学旅行
- ・ はたのおと
- ・ 四万十町地域資源映像活用事業業者選定委員

(3) 四万十ブランド認証事業

◎30年度は申請の相談がなかった。一昨年に登録した「JA四万十厳選にこまる」の売れ行きは変わらず好調で、さらなる拡大を考えているという報告を受けている。昨年登録した四万十黄金しょうがも四万十ブランドを前面に押し出したパッケージで販売展開している。また、今後の販売拡大のために県外等でのPRについても協力要請を受けている。

重要議決事項

議決年月日	議 決 事 項
平成 30 年 6 月 4 日 第 1 回通常理事会	<p>第 1 号議案 公益財団法人四万十川財団平成 29 年度事業報告 及び計算書類の承認の件</p> <p>第 2 号議案 公益財団法人四万十川財団評議員候補者選定の件</p> <p>第 3 号議案 公益財団法人四万十川財団平成 30 年度定時評議員会の招集決定の件 ①日時：平成 30 年 6 月 28 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 ②場所：高岡郡四万十町琴平町 4 7 4 - 1 高知県須崎土木事務所四万十町事務所 1 F 会議室 ③議題：第 1 号議案 公益財団法人四万十川財団平成 29 年度事業報告 及び計算書類の承認の件 第 2 号議案 公益財団法人四万十川財団評議員 1 名の選任の件</p> <p>第 4 号議案 四万十川財団規程の一部変更について</p> <p>第 5 号議案 坂本東男氏への感謝状贈呈について</p> <p>報告事項 1) 代表理事の職務の執行状況の報告について</p>
平成 30 年 6 月 28 日 定時評議員会	<p>第 1 号議案 公益財団法人四万十川財団平成 29 年度事業報告 及び計算書類の承認の件</p> <p>第 2 号議案 公益財団法人四万十川財団評議員 1 名の選任の件</p>
平成 30 年 7 月 30 日 第 1 回臨時理事会 (決議の省略)	<p>(1) 平成 30 年度第 1 回臨時評議員会の決議の省略についての決定 平成 30 年度第 1 回臨時評議員会の決議につき、一般法人法第 194 条 1 項の 規定により、決議の省略の方法により行うこと。</p> <p>(2) 平成 30 年度第 1 回臨時評議員会の決議事項 監事 1 名選任につき、その候補者の決定の件 1) 監事野崎高行氏（前四国銀行窪川支店長）の辞任に伴う後任の監事の候 補者を、吉川直人氏（四国銀行窪川支店長）と決定すること。</p>
平成 30 年 8 月 6 日 第 1 回臨時評議員会 (決議の省略)	<p>1 平成 30 年度第 1 回臨時評議員会の決議事項 1) 監事 1 名選任の件 監事野崎高行氏（前四国銀行窪川支店長）の辞任に伴う後任の監事として、吉川直 人氏（四国銀行窪川支店長）を選任すること。</p>
平成 30 年 12 月 27 日 第 2 回臨時理事 会（決議の省略）	<p>1 公益目的事業 1 - エ 清流の森づくり支援事業の廃止 公益目的事業 1 - エ 清流の森づくり支援事業を平成 30 年度で廃止する。</p>
平成 31 年 3 月 19 日 第 2 回通常理事会	<p>○第 1 号議案 平成 31 年度事業計画（案）および予算（案）の承認について</p> <p>○報告事項 1 理事長の事業執行状況報告 2 職員の契約更新について</p>

登記事項

官庁名	登記年月日	登記事項（敬称略）
高知地方法務局	平成 30 年 7 月 13 日	平成 30 年 6 月 28 日 評議員就任 町田 吉彦
高知地方法務局	平成 30 年 7 月 26 日	平成 30 年 6 月 29 日 監事辞任 野崎 高行
高知地方法務局	平成 30 年 8 月 17 日	平成 30 年 8 月 6 日 監事就任 吉川 直人

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	4,228,021	5,396,114	△ 1,168,093
未収金	75,508	0	75,508
前払金	11,880	11,880	0
流動資産合計	4,315,409	5,407,994	△ 1,092,585
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	1,556,469	1,208,958	347,511
四万十川基金	49,230,819	48,534,311	696,508
特定資産合計	50,787,288	49,743,269	1,044,019
(3) その他固定資産			
車両運搬具	46,109	46,109	0
什器備品	355,624	355,624	0
出資金	1,500	1,500	0
その他固定資産合計	403,233	403,233	0
固定資産合計	61,190,521	60,146,502	1,044,019
資産合計	65,505,930	65,554,496	△ 48,566
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,797,411	1,715,443	81,968
預り金	80,610	153,470	△ 72,860
流動負債合計	1,878,021	1,868,913	9,108
負債合計	1,878,021	1,868,913	9,108
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(うち基本財産への充当額)	10,000,000	10,000,000	0
2. 一般正味財産	53,627,909	53,685,583	△ 57,674
(うち特定資産への充当額)	50,787,288	49,743,269	1,044,019
正味財産合計	63,627,909	63,685,583	△ 57,674
負債及び正味財産合計	65,505,930	65,554,496	△ 48,566

正味財産増減計算書

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	999	999	0
基本財産受取利息	999	999	0
特定資産運用益	3,968	14,471	△ 10,503
特定資産受取利息	3,968	14,471	△ 10,503
受取補助金等	17,290,649	17,879,660	△ 589,011
高知県補助金	9,838,508	9,803,737	34,771
保全機構補助金	7,452,141	8,075,923	△ 623,782
受取寄付金	853,654	529,908	323,746
受取寄付金	692,654	323,908	368,746
会員寄付金	161,000	206,000	△ 45,000
雑収益	30,000	0	30,000
雑収益	30,000	0	30,000
経常収益計	18,179,270	18,425,038	△ 245,768
(2) 経常費用			
事業費	14,441,689	14,774,080	△ 332,391
給料手当	11,191,889	11,407,518	△ 215,629
給与等	3,753,000	3,671,352	81,648
期末手当	697,500	681,300	16,200
社会保険負担等	712,638	707,543	5,095
給与等(事業)	2,450,095	2,784,400	△ 334,305
期末手当(事業)	454,750	542,000	△ 87,250
社会保険等(事業)	445,605	493,223	△ 47,618
給与等(経理)	1,943,793	1,833,909	109,884
期末手当(経理)	364,438	343,825	20,613
社会保険等(経理)	370,070	349,966	20,104
臨時雇賃金	120,918	122,948	△ 2,030
旅費交通費	713,934	679,007	34,927
通信運搬費	174,975	180,493	△ 5,518
消耗品費	431,321	409,436	21,885
修繕費	16,200	29,106	△ 12,906
印刷製本費	1,133,955	774,036	359,919
燃料費	82,609	75,035	7,574
賃借料	78,932	82,844	△ 3,912
保険料	103,776	114,766	△ 10,990
諸謝金	171,000	138,000	33,000
支払負担金	0	300,000	△ 300,000
委託費	30,000	273,462	△ 243,462
新聞図書費	93,260	82,130	11,130

科 目	当年度	前年度	増 減
手数料	98,920	105,299	△ 6,379
管理費	3,795,255	3,705,423	89,832
給料手当	1,046,319	1,008,307	38,012
給与等	417,000	407,928	9,072
期末手当	77,500	75,700	1,800
社会保険負担等	79,181	78,615	566
給与等(経理)	343,021	323,631	19,390
期末手当(経理)	64,312	60,675	3,637
社会保険等(経理)	65,305	61,758	3,547
福利厚生費	102,840	137,000	△ 34,160
旅費交通費	526,830	433,933	92,897
通信運搬費	314,276	330,112	△ 15,836
減価償却費	0	86,885	△ 86,885
消耗品費	402,424	144,175	258,249
修繕費	177,476	195,890	△ 18,414
印刷製本費	311,871	517,686	△ 205,815
燃料費	119,688	109,169	10,519
賃借料	183,649	183,451	198
保険料	114,780	76,050	38,730
租税公課	112,620	78,220	34,400
新聞図書費	85,998	98,696	△ 12,698
手数料	46,026	43,422	2,604
商品購入費	48,779	63,780	△ 15,001
共益費	201,679	198,647	3,032
経常費用計	18,236,944	18,479,503	△ 242,559
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 57,674	△ 54,465	△ 3,209
特定資産評価損益等	0	△ 3,904	3,904
特定資産評価損益等	0	△ 3,904	3,904
評価損益等計	0	△ 3,904	3,904
当期経常増減額	△ 57,674	△ 58,369	695
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 57,674	△ 58,369	695
一般正味財産期首残高	53,685,583	53,743,952	△ 58,369
一般正味財産期末残高	53,627,909	53,685,583	△ 57,674
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	10,000,000	10,000,000	0
指定正味財産期末残高	10,000,000	10,000,000	0
III 正味財産期末残高	63,627,909	63,685,583	△ 57,674

正味財産増減計算書内訳表

平成30年4月1日から平成31年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		小計	法人会計	合計
	公 1	公 2			
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用利益	0	0	999	0	999
基本財産受取利息	0	0	999	0	999
特定資産運用利益	0	0	0	3,968	3,968
特定資産受取利息	0	0	0	3,968	3,968
受取補助金	6,608,322	3,853,376	13,620,565	3,670,084	17,290,649
高知県補助金	3,673,572	1,889,934	7,716,626	2,121,882	9,838,508
保全機構補助金	2,934,750	1,963,442	5,903,939	1,548,202	7,452,141
受取寄付金	0	0	626,827	226,827	853,654
受取寄付金	0	0	546,327	146,327	692,654
会員寄付金	0	0	80,500	80,500	161,000
雑収益	0	0	30,000	0	30,000
雑収益	0	0	30,000	0	30,000
経常収益計	6,608,322	3,853,376	14,278,391	3,900,879	18,179,270
(2) 経常費用					
事業費					
給料手当	7,029,522	4,253,300	14,441,689	0	14,441,689
給与等	5,054,483	3,099,457	11,191,889	0	11,191,889
給付手当	1,876,500	1,042,500	3,753,000	0	3,753,000
期末手当	348,750	193,750	697,500	0	697,500
社会保険負担等	356,313	197,952	712,638	0	712,638
給与等(事業)	1,347,549	1,102,546	2,450,095	0	2,450,095
期末手当(事業)	250,111	204,639	454,750	0	454,750
社会保険等(事業)	245,080	200,525	445,605	0	445,605
給与等(経理)	457,360	114,340	1,943,793	0	1,943,793
期末手当(経理)	85,748	21,437	364,438	0	364,438
社会保険等(経理)	87,072	21,768	370,070	0	370,070
臨時雇賃金	0	0	120,918	0	120,918
旅費交通費	326,320	387,614	713,934	0	713,934
通信運搬費	132,924	42,051	174,975	0	174,975
消耗品費	326,696	104,625	431,321	0	431,321
修繕費	16,200	0	16,200	0	16,200
印刷製本費	684,031	449,924	1,133,955	0	1,133,955
燃料費	37,555	45,054	82,609	0	82,609
賃借料	23,204	55,728	78,932	0	78,932
保険料	103,776	0	103,776	0	103,776
諸謝金	171,000	0	171,000	0	171,000
委託費	30,000	0	30,000	0	30,000
新聞図書費	28,170	65,090	93,260	0	93,260
手数料	95,163	3,757	98,920	0	98,920

科 目	公益目的事業会計				小計	法人会計	合計
	公 1	公 2	公益共通				
管理費							
給料手当	0	0	0	0	0	3,795,255	3,795,255
給与等	0	0	0	0	0	1,046,319	1,046,319
期末手当	0	0	0	0	0	417,000	417,000
社会保険負担等	0	0	0	0	0	77,500	77,500
給与等(経理)	0	0	0	0	0	79,181	79,181
期末手当(経理)	0	0	0	0	0	343,021	343,021
社会保険等(経理)	0	0	0	0	0	64,312	64,312
福利厚生費	0	0	0	0	0	65,305	65,305
旅費	0	0	0	0	0	102,840	102,840
交通費	0	0	0	0	0	526,830	526,830
通信費	0	0	0	0	0	314,276	314,276
消耗品費	0	0	0	0	0	402,424	402,424
修繕費	0	0	0	0	0	177,476	177,476
印刷製本費	0	0	0	0	0	311,871	311,871
燃料費	0	0	0	0	0	119,688	119,688
賃借料	0	0	0	0	0	183,649	183,649
保険料	0	0	0	0	0	114,780	114,780
租税公課	0	0	0	0	0	112,620	112,620
新聞図書費	0	0	0	0	0	85,998	85,998
手数料	0	0	0	0	0	46,026	46,026
商品購入費	0	0	0	0	0	48,779	48,779
共益費	0	0	0	0	0	201,679	201,679
経常費用計	7,029,522	4,253,300	3,158,867	14,441,689	18,236,944		
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 421,200	△ 399,924	657,826	△ 163,298	△ 57,674		
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0		
特定資産評価損益等	0	0	0	0	0		
評価損益等計	0	0	0	0	0		
当期経常増減額	△ 421,200	△ 399,924	657,826	△ 163,298	△ 57,674		
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0		
経常外収益計							
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0		
当期経常外増減額	0	0	0	0	0		
当期一般正味財産増減額	△ 421,200	△ 399,924	657,826	△ 163,298	△ 57,674		
一般正味財産期首残高	△ 1,712,127	1,050,576	1,465,055	803,504	52,882,079		
一般正味財産期末残高	△ 2,133,327	650,652	2,122,881	640,206	52,987,703		
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0		
指定正味財産期首残高	0	0	10,000,000	10,000,000	10,000,000		
指定正味財産期末残高	0	0	10,000,000	10,000,000	10,000,000		
III 正味財産期末残高	△ 2,133,327	650,652	12,122,881	10,640,206	52,987,703		

財務諸表に対する注記

1 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当なし

(3) 固定資産の減価償却法

什器備品は定額法で償却している。

(4) 引当金の計上基準

該当なし

(5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式により処理している、

(6) リース取引の処理方法

該当なし

3 会計方針の変更

平成 25 年度から「公益法人会計基準」(平成 20 年 4 月 11 日 平成 21 年 10 月 16 日改正 内閣府公益認定等委員会)を採用している。

4 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
四万十川基金	48,534,311	2,696,610	2,000,102	49,230,819
減価償却引当資産	1,208,958	347,561	50	1,556,469
小 計	49,743,269	3,044,171	2,000,152	50,787,288
合 計	59,743,269	3,044,171	2,000,152	60,787,288

5 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に対応 する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	(10,000,000)	0	0
小 計	10,000,000	(10,000,000)	0	0
特定資産				
四万十川基金	49,230,819	0	(49,230,819)	0
減価償却引当資産	1,556,469	0	(1,556,469)	0
小 計	50,787,288	0	(50,787,288)	0
合 計	60,787,288	(10,000,000)	(50,787,288)	0

6 担保に供している資産

担保に供している資産はない。

7 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
車両運搬具	922,185	876,076	46,109
什器備品	2,219,908	1,864,284	355,624
合 計	3,142,093	2,740,360	401,733

8 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残高

該当なし

9 保証債務等の偶発債務

保証債務等の偶発債務は保有していない。

10 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券は保有していない。

1 1 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
高知県補助金	高知県	0	9,838,508	9,838,508	0	—
四万十川総合 保全機構補助金	流域5市町	0	7,452,141	7,452,141	0	—
合 計		0	17,290,649	17,290,649	0	

1 2 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当なし

1 3 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替は行っていない。

1 4 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引はない。

1 5 キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引

該当なし

1 6 重要な後発事象

重要な後発事象は発生していない。

1 7 その他

附属明細書

1 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資 産 の 種 類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	定期預金（四国銀行／窪川支店）	10,000,000	0	0	10,000,000
	基 本 財 産 計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産	四万十川基金				
	定期預金（四国銀行／窪川支店）	5,010,514	501	0	5,011,015
	定期預金（四国銀行／窪川支店）	10,027,064	1,002	0	10,028,066
	定期預金（四国銀行／窪川支店）	10,008,008	1,000	0	10,009,008
	定期預金（四国銀行／窪川支店）	10,000,000	1,000	0	10,001,000
	定期預金（高知銀行／窪川支店）	4,535,365	453	0	4,535,818
	決済用預金（四国銀行／窪川支店）	8,605,831	2,678,644	2,000,000	9,284,475
	振替口座（ゆうちょ銀行／ 01670-3-17069）	347,529	14,010	102	361,437
	減価償却引当資産（高知銀行／ 窪川支店）	1,208,958	347,561	50	1,556,469
特 定 資 産 計	49,743,269	3,044,171	2,000,152	50,787,288	

2 引当金の明細

該当なし

財産目録

平成31年3月31日現在

(単位：円)


貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	普通預金			4,228,021
	一般通帳	四国銀行窪川支店	運転資金として	1,815,521
	農協通帳	J Aしまんと	運転資金として	76,363
	ブランド通帳	四国銀行窪川支店	運転資金として	1,055,276
	会員通帳	四国銀行窪川支店	運転資金として	1,436
	ゆうちょ会員	ゆうちょ銀行	運転資金として	1,279,425
	未収金	高知県	未交付補助金	75,508
前払金	ないすりフォーム	システム保守料	11,880	
流動資産合計				4,315,409
(固定資産)	基本財産			
	定期預金		運用益を公益目的事業の	10,000,000
	定期預金(指定)	四国銀行窪川支店	財源として使用	10,000,000
	特定資産			
	減価償却引当資産		運用益を管理費の	1,556,469
	減価償却引当資産(一般)	高知銀行窪川支店	財源として使用	1,556,469
	四万十川基金			49,230,819
	基金通帳	四国銀行窪川支店		9,284,475
	ゆうちょ基金	ゆうちょ銀行	運用益を管理費の	361,437
	四国銀行定期預金	四国銀行窪川支店	財源として使用	35,049,089
	高知銀行定期預金	高知銀行窪川支店		4,535,818
その他固定資産				
車両運搬具			46,109	
什器備品			355,624	
出資金			1,500	
固定資産合計				61,190,521
資産合計				65,505,930
(流動負債)	未払金			1,797,411
	預り金			80,610
流動負債合計				1,878,021
負債合計				1,878,021
正味財産				63,627,909


監査報告書

公益財団法人 四万十川財団
理事長 中尾 博憲 殿

令和 元年 5 月 24 日

公益財団法人 四万十川財団

監事 吉田 尚人 

監事 吉川 直人 

私たち監事は、平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。